令和　5　年度　　園評価書

園番号　4　　園名　静岡市立安東こども園

Ⅰ　経営の重点に関わること

評価段階（A：よくできている　B：概ねできている、C：あまりできていない、D：できていない）

1　教育・保育目標	2　重点目標	評価指標	園説明	自己評価	関係者評価	園関係者評価委員から	改善策（来年度の具体的な取組目標等）
すすんで遊びをつくる子	「やってみようもっとやってみよう」	自分で探す、選ぶ、決めることを通し自分なりの思いをもっている	**職員A６９%B３０%　保護者問１　幼９６%　問３　９７%** 自分の意志や考えをもち、主体的に生活や遊びを行うことについて職員も保護者も育ちを感じている。	A	A	**Ｉ－３についてA評価としてよい** ・保育参観の様子から、保育者が重点目標を意識しきめ細かく様々なことに関わり、生活や遊びを繋げていることが分かる。Ｉ－３は「行おうとしている」という評価指標なので、A評価でよいのではないか ・行事を見ても、準備から進行、片付けや次の活動への取り組みなど、子ども達が園生活を自ら行おうとする姿が見られる ・職員の評価が厳しい。C評価はなく、皆が出来ていると感じているのでA評価でよいのではないか	「主体的」「対話的」「深い学び」の中から、「深い学び」に焦点をあてる ①豊かな体験と出会う ②体験したことを次の経験につなげる ③一人一人の経験を遊びや生活の中で広げ活かす
		友達と関わり、力を合わせたり思いを伝え合ったりしている	**職員A５０%B５０%　保護者問４　９３%　問５　９０%** 友達と一緒に遊ぶ楽しさや同じ目的をもち協力しながら物事を進めることについては評価が高い。思いを伝え合うことについて課題を感じている職員が多い。	A	A		
		生活や遊びに必要なことを自分から行おうとしている	**職員A１９%　B８１%　保護者問２　９０%** 生活習慣の自立については、職員と保護者の評価に大きな差がある。個人差が大きく、個々へのきめ細やかな援助が必要である。	B	A		

Ⅱ　各領域に関わること

大項目	中項目	評価指標	園説明	自己評価	関係者評価	園関係者評価委員から	改善策（来年度の具体的な取組目標等）
1 こども園における教育及び保育	(1)0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育	発達を捉えた指導計画が作成され、職員間で共有されている	**職員A６４%　B３６%** 毎月指導計画を全員に配布したことで、様々な立場の職員が年齢毎の保育内容を共有できた。また、担任中心に毎月月案検討を実施し発達を捉えた指導計画を考えることが出来た。	A	A	**１について** ・月案がこの時期にはこのようなことが大切ということを保育者が理解する事につながっていてとてもよい ・公開保育を参観し子どもがその子らしく過ごすことが出来る教育活動がされていた。子どもが一番困るのは、先生よって対応が異なることで、場合によっては子ども達の消極的な態度につながってしまう。月案で共通理解がなされていることはとても大切なことだと思う ・環境の見直しを行ったことが、子どもの自分で「探す・選ぶ・決める」姿につながっていると思う。しかし、環境の見直しの回数が多く、先生たちは大変ではないか **３について** ・職員は習慣化や丁寧な実施に課題を感じているが、家庭では９６%の保護者が「できている」と評価しているのでAでよい **５について** ・保育者の仕事量の軽減という点から、「ここを頑張らなければ安東こども園ではなくなる」ということを精選していくことが必要ではないか **６、７について** ・安東こども園の発信が他園の学びになっている。「苦手」を伸ばそうとすることは苦しいので個々の職員の得意不得意を皆で理解し合い、補い合いながら「その人が活躍できる場所」を見つけていってほしい。一人一人の職員がやりがいを感じ園で活躍できるようになるとよい ・若い職員は「自分が力不足」と悩んでいる職員が多い。「力」は経験を重ねて身に着くので、先ずは若さを発揮し体を動かす、子どもへの愛情を大切にし子どもと関わってほしい **８について** ・小さなことでもわが子についての話を聞くことが嬉しい。先生と話す機会はとても大切だと感じる **９について** ・B評価だが、様々なことを行っているので実施回数で評価してもよいのではないか **１０について** ・乳児の地域との関りは難しいが、幼児になるとこんなことができるという、アピールをしていくことでよいのではないか	1年間の子どもの育ちを見通した指導計画の作成
	(2)一日の生活の連続性及びリズムの多様性への配慮	教育時間と教育時間外の遊びの違いに配慮している	**職員A５０%　B５０%** 教育時間は協同的活動を中心に、友達と共通の目的をもって取り組めることを大切にした。教育時間外は玩具を見直し、カードゲーム等友達と楽しめる物を取り入れた。	A	A		教育時間と教育時間外の保育のねらいを職員間で周知し、環境構成と援助を行う
	(3)環境を通して行う教育及び保育	選ぶ、探す、見つける環境が用意されている	**職員A５５%B４５%　保護者問９　A評価９３%** 今年度新たに園庭・室内環境の分掌担当を配置した。園庭環境改善７回、室内環境６回見直し、子どもが選ぶ・探す・見つける環境を構成した。保護者にも遊びの環境公開を行った。	A	A		物や道具の扱い方が身につくよう遊びや生活の中で指導する。準備から片付けまでを子どもと行う
2 安全管理・指導	(1)事故防止・防災	子ども自身が安全に気を付けたり避難したりできるように指導している	**職員A４９%　B５１%　怪我報告R4　２５件　R5　２０件** 子どもが自分で判断して避難するために、予告なしの訓練の回数を増やした。怪我の防止について子ども自身が気づく姿を認め、子ども自身が危険を見つける目をもてるように指導した.保育者の危機管理対応に課題がある	B	B		様々な想定を予測した、職員の判断力の育成
3 保健管理・指導	(1)健康教育の充実	うがい手洗いなど、コロナ禍に身についた感染予防を大切にし、健康な生活が身につくようにしている	**職員A３０%　B６８%　保護者問８　９６%** コロナをきっかけにうがい・手洗い等、感染予防に関心をもつ家庭が増えた。しかし、職員の評価から習慣化や、丁寧に行うことには課題がある。	B	A		食育を通して、健康な身体づくり（給食の工夫）
4 特別支援教育・保育	(1)支援体制づくりの推進	支援児のグループ活動（ミニトマトの会）を実施し、子ども理解や援助について具体的に考えている	**職員A６３%　B３７%** 昨年度、支援を必要とする園児の会（ミニトマトの会）が１回であったが、今年度１０回行い、その様子を手紙で発信したり保護者の参観を呼びかけたりした。また、専門機関と連携し支援サポート研修を３回行った。	A	A		年間を通して実態とねらいに合わせた計画の作成と実施・評価を行う
5 組織運営	(1)組織体制の充実	担当分掌を基に仕事が分担され、効率よく進められている	**職員A１６%　B８１%** 中間評価で分掌の内容理解が不十分で実施状況に遅延が見られたため話し合い、後期は計画的に進めた。仕事分担の偏りが課題である。	B	B		ワークライフバランスに重点をおき、年度当初、各分掌の仕事内容の理解と精選を行う。１年間の実施計画をたて、効率よく仕事を分担して行えるようにする
6 研　修	(1)研修体制の充実	研修を通し、全ての職員が重点目標・研修テーマについて考えた援助をしている	**職員A４１%　B５９%　　年度末重点目標周知率　85　%** 若手職員の会（パプリカの会）を新設し経験の浅い職員が保育の悩みを相談できる場をつくった。５回の研究保育で重点目標・研修テーマについて考えたが、職員の捉え方に温度差がある。	B	B		重点目標の周知率を１００%にし、全職員が同じ方向性をもって保育が行われるようにする
7 教育・保育環境整備	(1)教育・保育環境の充実	友達と関わりをもったり、発想を広げたりする環境構成をしている	**職員A４５%　B５５%** 子どもが考える教材や友達と協力できるような教材を工夫したという意見がある一方で、保育者の力量により、環境に大きな差があることが課題にあげられた。	B	B		素材や材料、教具の知識を深める教材研究
8 家庭との連携・協力	(1)家庭教育への支援機能の充実	参観会、面談、登降園時に子どもの姿を直接、保護者に伝えている	**職員A７６%　B２４%　保護者問１１　幼９７%　乳９９%** 参観会R4より４回増。保育室公開も新たに実施。個人面談も各学年２回実施し、直接保護者に伝えることを大切にした。	A	A		ICTを活用した保護者への発信
9 近隣の学校との連携	(1)近隣の園との連携の推進	近隣校園と目的をもった園児の活動や育ちの連続性を考えた職員間の情報共有している	**職員３２%　B６８%** 今年度新たにみつばち保育園・安東中保育体験・安東小児童と園児の交流を行った。職員は小学校の公開授業や研究会に参加し、接続期のカリキュラムについて考える機会をもった。	B	B		小中学校・近隣園との交流の目的・成果・課題を職員間で共有し、架け橋期のプログラムについて考える
１０ 地域との連携	(1)信頼される園づくりの推進	地域の施設や人材を保育に取り入れている	**職員A４３%　B５７%　保護者問７　幼９６%　乳C１４%** 安東米店・市立図書館・地域の商店・静岡デザイン専門学校・環境学習指導員による自然学習を行った。地域との活動は幼児が中心で乳児の地域とのかかわりが課題である。	B	B		地域とのかかわりについて保護者への発信 乳児の園外保育場所の開拓